

ラジオカセットコーダー

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。
⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故に
なることがあります。
この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使い
ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



付属品を確認める

- ソニーマンガン乾電池 R6P (SR X 2本) (お試し用*)
- ヘッドホン
- ステレオマイク
- 取扱説明書・保証書
- 周波数一覧表
- ソニーご相談窓口のご案内

* 付属のマンガン乾電池はお試し用です。購入する場合はソーニールカリ乾電池をおすすめします。

⚠警告 安全のために
● 乾電池を持ち運ぶときは、コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しないでください。乾電池の+と-が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

保証書とアフターサービス

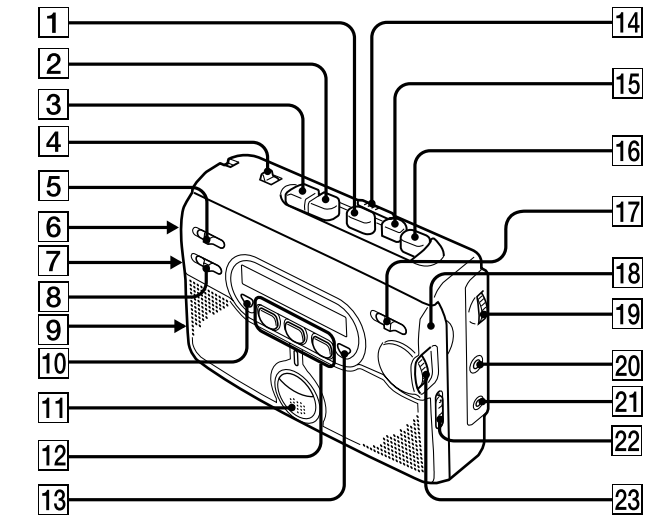
保証書
● 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
● 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも具合の悪いときはサービスへ
テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
部品の保有期間について
当社はラジオカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

http://www.sony.co.jp/
ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル.....0570-00-3311 受付時間：月～金 9:00～20:00
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は.....03-5448-3311 土・日・祝日 9:00～17:00
● Fax.....0466-31-2595

各部のなまえ

● 本体



- 1 ◀▶再生ボタン
- 2 巻戻し/レビューボタン
- 3 早送り/キューボタン
- 4 反転スイッチ
- 5 録音時間切り換えスイッチ
- 6 AVLSスイッチ
- 7 ISS (AM放送録音妨害除去) スイッチ
- 8 スピーカースイッチ
- 9 DC IN 3Vジャック
- 10 エリアボタン
- 11 フラットマイク
- 12 TV、FM、AM (バンド選択) ボタン
- 13 ラジオ切ボタン
- 14 一時停止スイッチ
- 15 ■停止ボタン
- 16 ●録音ボタン
- 17 チューニングモード切り換えスイッチ
- 18 カセットぶた
- 19 音量つまみ
- 20 マイク (プラグインパワー) ジャック
- 21 ♀ (ヘッドホン) ジャック
- 22 FMモード (ステレオ、モノラル) 切り換えスイッチ
- 23 選局ジョグダイヤル

● 表示窓



- 24 録音時間切り換え表示
- 25 プリセット/エリア表示
- 26 バンド表示
- 27 メイン表示 (再生モード、周波数、チャンネル)
- 28 電池残量表示

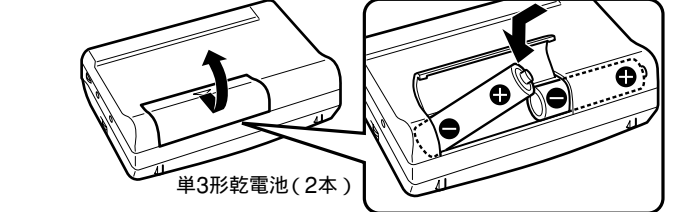
ご相談になるときは次のことをお知らせください。
● 型名
● 故障の状態：できるだけ詳しく
● お買い上げ年月

準備する

コンセントにつないでの使いかたは、裏面の「電源」をご覧ください。

1 乾電池を入れる

単3形乾電池 (2本) を、図のようにⓐとⓑの向きを正しく入れてください。

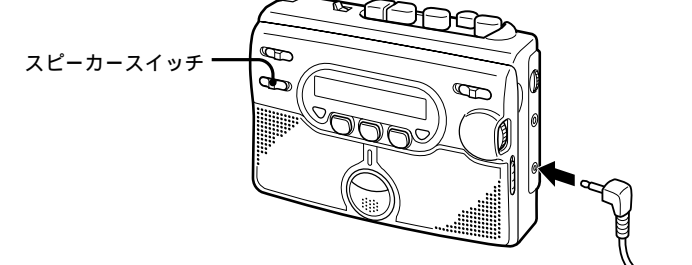


ご注意
乾電池は別売りのソーニールカリ乾電池のご使用をおすすめします。

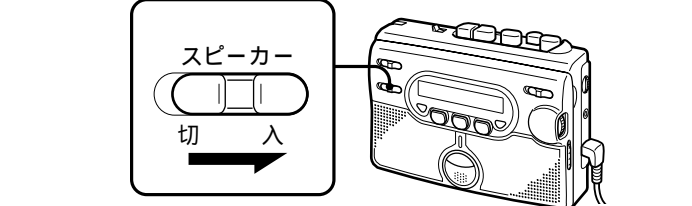
電池ぶたがはずれたときは図のように取り付けます。

2 ヘッドホンをつなぐ

スピーカースイッチを「切」に合わせます。



スピーカ - で使うには
スピーカースイッチを「入」に合わせます。
スピーカーから音が聞こえ、ヘッドホンからは音が聞こえなくなります。
また、AVLSスイッチは動きません。



⚠ FM、テレビ放送を聞くときは、ヘッドホンのコードがアンテナとして働くので、スピーカーで聞く場合もヘッドホンはつないだままにします。

ヘッドホンの使いかた
ヘッドホンが耳にぴったり合わないときや、音のバランスが不自然なときはおさまりのいい位置に調節してください。



録音する

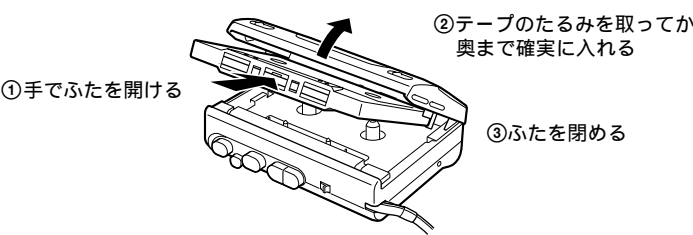
両面録音できます。

- ⚠ 録音するときは、2本ともなるべく新しい乾電池をお使いください。
● ツメが折れている面には録音できません (「録音するときの注意」参照)。

ご注意
● 録り直しのきかない録音の場合、必ず事前にためし録りをしてください。
● ラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
● あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

1 カセットを入れる

録音には、TYPE I (ノーマル) テープをお使いください。



カセットの入れかた	反転スイッチ
両面を続けて録音するとき	録音を始めた面がふた側になるようにカセットを入れる。おもて面
片面だけに録音したいとき	録音したい面が本体側になるようにカセットを入れる。うら面

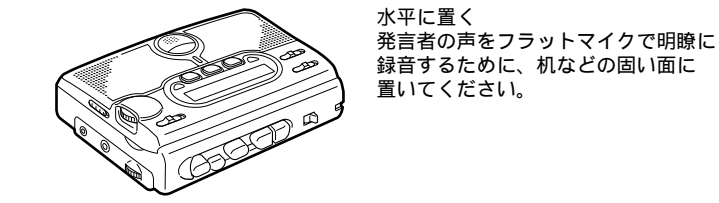
2 録音時間を選ぶ



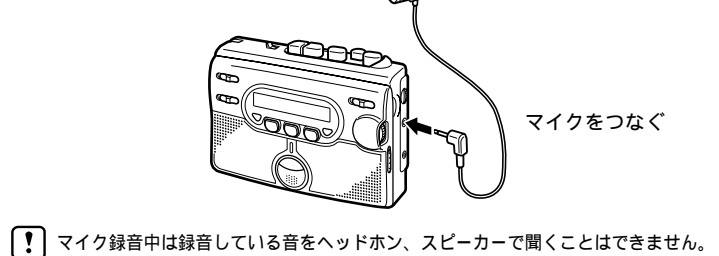
標準 (4.8cm/s) : 通常の録音をするとき。
「2倍」のときより良い音で録音できます。
2倍 (2.4cm/s) : テープ速度を半分にして2倍の時間録音をするとき。
会議、口述、メモ録音などに適しています。音楽の録音にはおすすめてできません。(60分テープを使うと、両面で120分間の録音ができます。)

3 音源を選ぶ

内蔵マイクで録音する

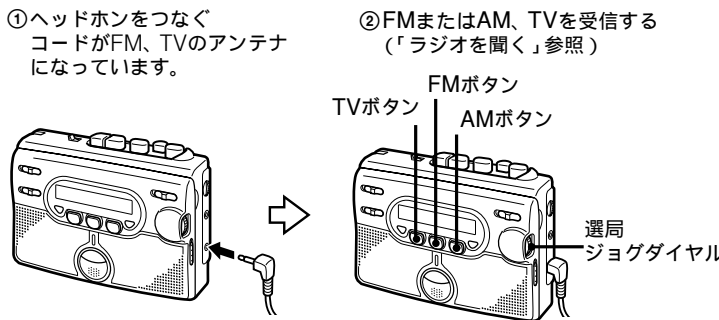


ステレオマイクで録音する



⚠ マイク録音中は録音している音をヘッドホン、スピーカーで聞くことはできません。

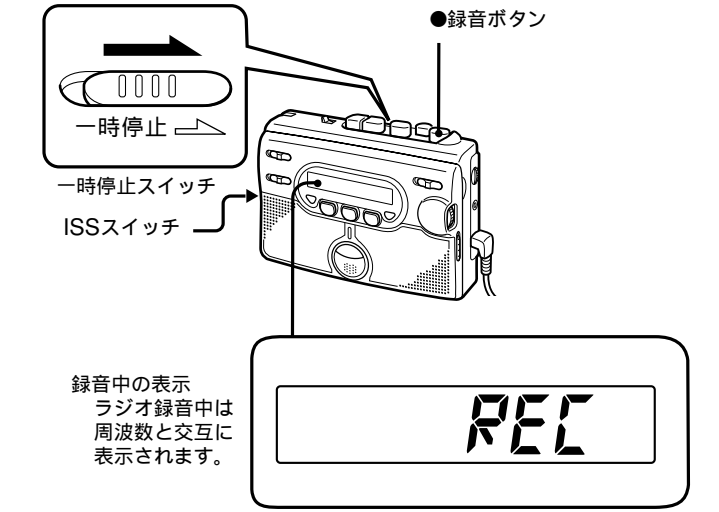
ラジオ/TV放送を録音する



⚠ ラジオ録音中にチューニングモードを切り換えしないでください。周波数が変わります。また、ラジオ録音中にヘッドホンの抜き差しをしないでください。雑音が入ります。

4 録音を始める

● 録音ボタンを押します。同時に再生ボタンが押され、録音が始まります。



テープが終わりまでくるとふた側 (おもて面) から録音を始めたときは、自動的に本体側 (うら面) に切り換わり、うら面の終わりまで録音して自動的に止まります (両面録音)。また、うら面から録音を始めたときはその面の終わりで自動的に止まります (片面のみ録音)。

ご注意
両面録音時、おもて面からうら面に切り換わる際の約10秒間、録音が途切れます。

録音を一時停止するには
録音中に一時停止スイッチを矢印の方向にずらすと、録音は一時停止します。録音を再開するときは、一時停止スイッチを矢印と反対の方向にずらします。

録音を止めるには
■ 停止ボタンを押します。

AMを録音中に雑音が聞こえたら
本体側面のISSスイッチを雑音が消える位置 (1、2または3) に切り換えます。

録音レベルについて
録音レベルは一定です。録音される音は音量つまみやAVLSスイッチの設定に影響されません。

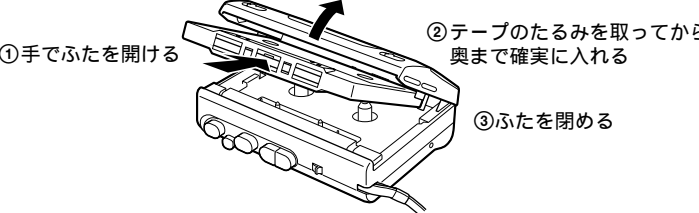
付属のマイクの使いかた
クリップはマイクを付ける場所に合せて方向が変えられます。

テープを聞く

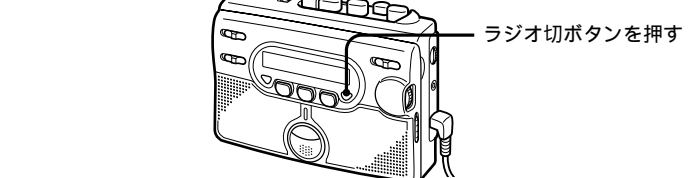
テープ片面の再生が終わると、自動的に反対面の再生に変わり、両面を再生します。(オートリバース機能)

1 カセットを入れる

TYPE I (ノーマル) テープをお使いください。

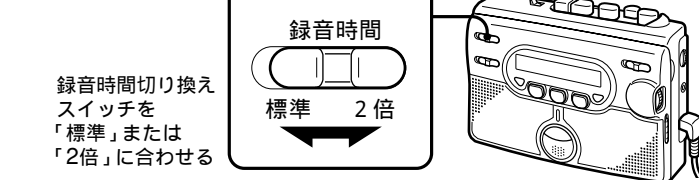


2 ラジオを消す

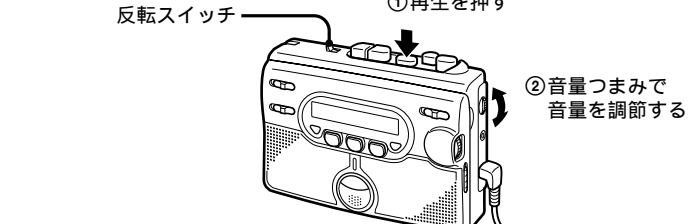


3 「標準」または「2倍」を選ぶ

録音時間切り換えスイッチを、録音したときと同じ位置に合わせます。市販の録音済みテープを再生するときは「標準」を選んでください。



4 再生する



テープ速度がおかしいときは、録音時間切り換えスイッチを確認してください。

その他のテープ操作

操作	操作するボタンまたはスイッチ
再生面の切り換え*	反転スイッチ (◀: おもて面 (ふた側) ▶: うら面 (本体側) の面)
停止	■ 停止
早送り / 巻戻し**	停止中に巻戻し / レビューまたは早送り / キュー
一時停止する	一時停止スイッチを矢印の方向へずらす
音を聞きながら早送りする (キュー)	再生中に早送り / キューを押し続ける
音を聞きながら巻き戻す (レビュー)	再生中に巻戻し / レビューを押し続ける

* うら面から再生を始めたときは、うら面のみ再生します。
** 早送り / 巻き戻しをしてテープが巻き取られたあとそのままにしておくと、電池が急激に消耗するので、必ず■ 停止ボタンを押してください。

⚠ テープ走行中はカセットぶたを開けないでください。

